

こども
子供のインターネットバイブル
あんない
案内いたします



ルツの
ラブストーリー



ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Janie Forest

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: Lyn Doerksen

60話の第16話

www.M1914.org

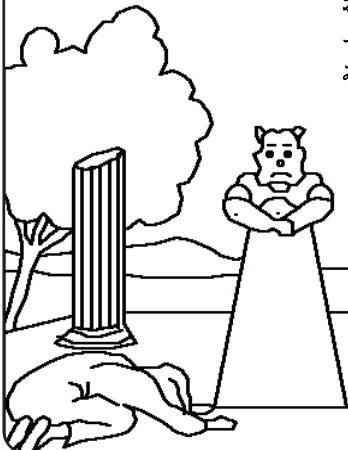
Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

みなさん、ちょっと、
そうぞうしてみてください。もし、
みなさんが、ひいおじいさん、
ひいおばあさん、そのまたおじいさん、
おばあさん、そしてもっともっと前に生き
ていた家族のすべての人に会ったとしたら、
みなさんはきっとびっくりするでしょうね。



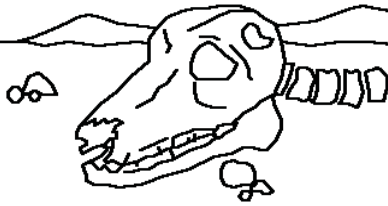
1

「わたしの家族のずっと昔の人たちは、
こんな人たちだっ たんだなあ。」って。
聖書には、人としてのイエスさまの先祖
の1人にルツという人がいます。ルツは、
そのむかし、ほんとうの神さまを知らないで、
ぐう像を礼拝していたモアブ人でした。



2

このルツのお話はね、サムソンが生きていた時代のあとにはじまるのですよ。そのころ、神さまの民イスラエルの人々は、神さまからすっかりはなれていましたので、神を信じることも、したがうこともやめてしまっていました。さて、そのイスラエルの地に、ひどいきんがやってきたのです。みなさん、ききんって何でしょう。知っていますか。そう、そのとおりです。ムギやトウモロコシなどのこくもつや、くだものなど何ひとつ食べるものが育たないことですね。だからきんになると、動物も、人間たちも食べるものがなくおなかがすいて死んでしまったのです。



3

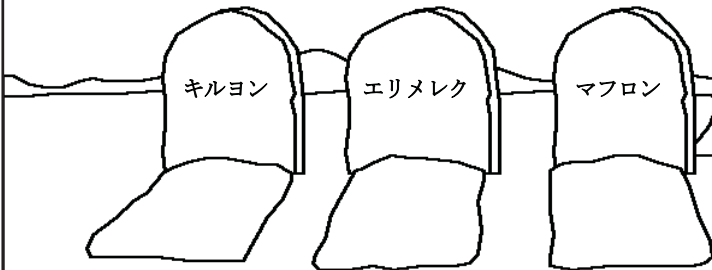
そのころ、ベツレヘムにエリメレクという人がいました。かれもまた、食べるものがありません。そこで、おくと2人のむすこをつれ、

ベツレヘムをはなれることにしました。食べるものをさがし求めて、かれらはモアブという所にたどりつきましたよ。その人々は、ほんとうの神ではなく、ぐう像を礼拝していました。



4

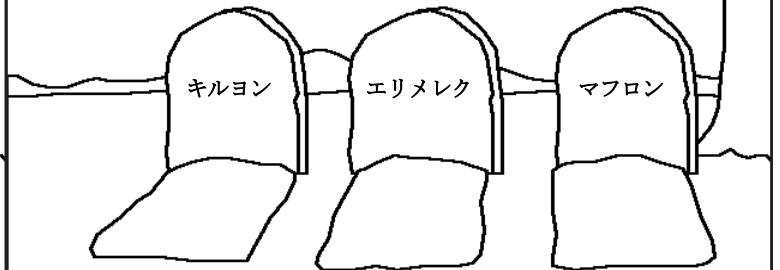
エリメレクと、かれのおくとやむすこたちは、ここモアブに住みましたが、そこでは、



かれらは幸せにくらすことはできませんでした。悲しいことに、エリメレクが亡くなり、つづいて2人のむすこも死んでしまったのです。

5

エリメレクのおくとさんナオミは、2人のむすこたちのおくとさん、ルツとオルパといっしょに、1人モアブに残されてしまいました。



亡くなったむすこたちのおくとさん、ルツとオルパはモアブの人でしたよ。

6

夫も亡くなり、ナオミは今ひとりぼっちです。そのときナオミは、主がかれの国民のところ、イスラエルに来られ、人々に食べ物を与えられているという話を聞きました。そこで、かの女は、ふるさとイスラエルにもどろうと決めたのです。でも、2人のまだ若いルツやオルパはいったいどうしたらいいのでしょうか。



7

ナオミは、かれらにこう言いました。「ルツ、オルパ、わたしはイスラエルにもどります。でもあなたたちはまだ若いでしょう。だから、モアブに残って、もういちど結婚してしあわせになってくださいね。」



8

そこで、オルパは自分のお父さんとお母さんの家にもどって行きました。でもね、ルツはどうしたでしょう。「いいえ、わたしは、父や母のところにはもどりません。あなたは、わたしの亡くなった夫のお母さん



んです。だから、今はわたしのお母さんです。どうぞいつまでもあなたについて行かせてください。」心やさしいルツは、ナオミにこのように言って、いっしょに生きていくことをやくそくしました。

9

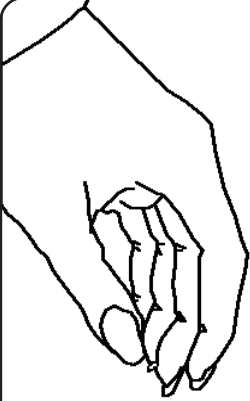
ナオミのむかしの友だちはみんな、かの女がベツレヘムにもどってきたので、おおよろこび。けれどもナオミは、友だちにこのようにたのみました。



「これからは、わたしをマラ（苦い）って呼んでください。ナオミ（よろこび）のかわりにね。」そしてまた、言いました。「なぜなら、何でもおできる主なる神が、わたしにとてもきびしくされたので、わたしはひどく苦しんだからです。」ナオミは何もかも失って、1人ぼっちで自分のふるさとにもどってきたのです。ただルツだけは いっしょでしたけれどね。

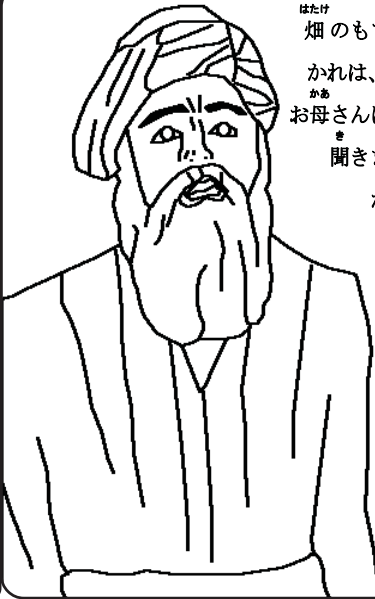
10

ここイスラエルへ来るまえ、ルツは、ぐう像を礼拝していました。モアブのほとんどの人々がそのようにしていましたからね。けれども今、イスラエルの生きていらっしゃるほんとうの神さまを礼拝するようになりました。ルツはいっしょうけんめい働きました。ナオミがじゅうぶんにごはんを食べることができるようね。ルツは、まいにち畑へ出かけて行き、刈り入れの仕事をしている人のあとについて歩き、刈り取ったあとの残りものを、ひろいあつめました。



11

畑のもち主の1人にボアズという人がいました。かれは、ルツが自分の亡くなってしまった夫のお母さんにどんなにやさしくしてあげているかを、聞きました。あるとき、ボアズはルツに会い、かの女を助けてあげたいと思いましたよ。そこで、刈り入れの仕事をしているうちに言いました。「ムギをぜんぶ刈りと取ってしまわないで、ほんの少しだけ残しておいてください。」ボアズは、このやさしいルツに会って、だんだん好きになっていきました。



12

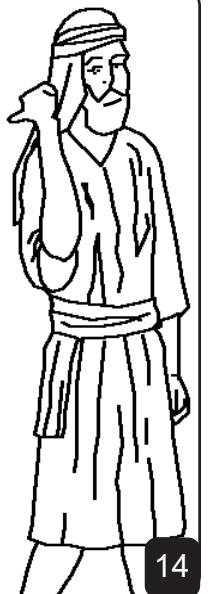
ルツは、ナオミにボアズがどんなに親切にしてくださっているか話しますと、お姑さんのナオミは、神さまをほめたたえてこう言いました。「ルツ、その人ボアズはね、わたしたちの親せきですよ。わたしたちの一族の男の人の1人なのす。」



13



とき時がたつにつれて、ボアズはルツと結婚して、ナオミもかの女の土地も、めんどろをみていきたいと思うようになりました。でもね、ナオミの親せきの中に、ボアズよりもっと近い親せきの男の人がいました。

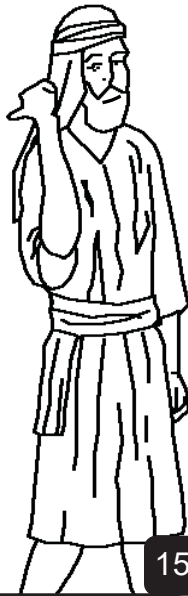


14



そして、その人がまず、
何でも先にえらぶことができるのです。

その人はこう言いました。「ナオミの土地はほしいな。
でもルツは、おくさんにしたくないよ。」けれどもそ
のころの法りつでは、その人は1つのものだけを受け取り、
もう1つのものを受け取らないということは、
できませんでした。そこで、
その人はボアズに自分の権利をゆずることにしました。



15

その時代、イスラエルの人々は話し合いがうまくいったとき、
今のようにあく手をしなかったのですよ。では、

どうするのでしょうか。ボアズはみんなの前で、
自分のくつを脱いでもうひとりの男の人の前におきました。

これで、話し合いがうまくいったということ
なのです。こうして、



ルツはボアズのおくさんにな
りました。今、ルツとナオミは、
ボアズの家族なのです。

16

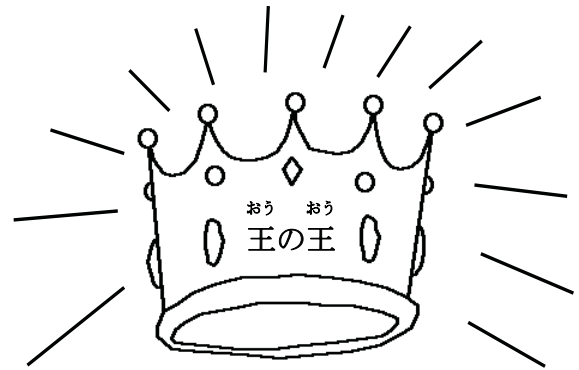
ボアズとルツは、かれらの初めのむ
すこをオベドと呼びました。じつは、
オベドはダビデのおじいさんなのです。
ダビデはイスラエルのりっぱな王さ
まになりましたよ。



17

みなさん、ここでもっともつとすばらしいお話をしませんか。

ルツとボアズの赤ちゃんオベドは、主イエス キリストの先祖だったのです。
王の王であり、この世の救い主であるイエスさまは、
じつはこのダビデの家から生まれられたのですね。



18

ルツの ラブストーリー

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

ルツ記

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺをくらっています。
神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいまし
た。そして、イエスさまが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくだ
さったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へ
もどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。
愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また
生きていらっしゃることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてくださ
い。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あな
たといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、
たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3 : 16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！